

「地域材ふれあい体験会」の開催について

1 はじめに

県民の方々に木材の良さや利用の意義を学ぶ機会を提供するほか、市内の製材所が連携し、地域木材の需要拡大を目的に、令和4年10月30日、奥州市水沢の産直来夢くんにて、「地域材ふれあい体験会」を開催しましたので紹介します。

（主催：当局、(株)オノダ、(有)阿部製材所）

2 体験会の内容

(1) 木製品の展示と販売

手作りの机やイス、キャンプ用品など、一般のホームセンターでは販売していない製品に魅力を感じ、購入する参加者の姿が見られました。

(2) 木工体験・木製アクセサリ作成

本立てやコーナーラックのほか、今回はランプシェードや時計など釘を使わない製品も用意しました。

(3) 木育広場

木のプール、木馬、ままごとなどのおもちゃが用意され、子どもたちが夢中で遊んでいました。木の良さを直に感じるため、世代を問わず好評でした。

(4) 会社の施工事例の展示と相談会

主に住宅の情報（気密性、耐震、シロアリ対策など）を展示し、昔とは違った構造の説明が参加者の関心を寄せていました。

(5) 宝探しクイズイベント

各コーナーにキャラクターを模った木製のボードを配置し、次々と見つけて答える子どもと、彷徨いながら首を傾げる大人の対照的なクイズラリーが会場を盛り上げました。

3 体験会の反省

集客力の多い産直を会場にしましたが、参加理由が「施設利用（買い物）のついで」であり、イベント内容に工夫が必要と感じました。

木育広場は非常に好評で、子育て世代には天候に左右されない子供の遊び場と魅力的な木のおもちゃに高評価を得ました。

一方、木製品は加工手間から高価格となってしまうことから、見合った付加価値や納得の価格設定の必要性が課題となりました。

4 おわりに

今回参加した製材所は、自社でイベントを開催するなど自主性が培われていることから、今後は各社PRと成長に繋がるような支援も検討して参ります。



会場の様子



案内所&クイズの答え合わせ